



新年度が始まって3週間が過ぎ、明日は校外学習、そしてゴールデンウィークが始まります。新しい学校・新しいクラスでの生活に気が張っていたかもしれませんが、少しゆっくりとリフレッシュする機会にしてもらいたいと思います。とはいえ、3年の皆さんは受験生としての本番が始まっています。順調に進んでいるのでしょうか？ それとも、気持ちが焦るばかりでなかなか始められませんか？ 明日からの10日間【校外学習 + 3連休 + 校内実力テスト + 身体計測・体力テスト + 4連休】を計画的に取り組むことで、本格始動のきっかけにしてもらいたいと思います。

進路指導部は皆さんの進路実現のために、様々な取り組みを計画しています。その一環として、今年もこの進路通信などを通して、様々な情報を提供していきたいと思います。

①. 【 1 学期の主な進路行事 】

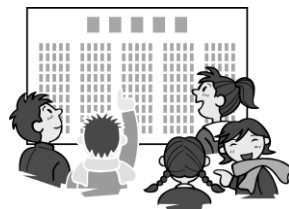
5 / 1 (火)	第1回校内実力テスト【ベネッセ記述模試】(3年)
5月上旬～	実力養成講座開始(各学年)
5 / 23 (水) 7限	AO・推薦入試説明会(3年希望者)
6 / 4 (月) 6限+放課後	進路ガイダンス(2年)(放課後の部は1, 3年も参加可能)
6 / 5 (火)	第2回校内実力テスト【ベネッセマーク模試】(3年)
6 / 27 (水) 7限	夏季学習ガイダンス(3年集会)
7 / 10 (火)	第1回校内実力テスト【ベネッセ記述模試】(1・2年) 第3回校内実力テスト【ベネッセ記述模試】(3年)
7 / 12 (木)	外部講師による進路指導①(3年希望者)

②. 【 卒業生(現役:32期生)の進路状況 その1 】

今春の私立大学入試も、昨年に引き続き全国的に厳しい入試となりました。国の政策である「入学定員厳格化」の影響で人気私大は今春も合格者数を大幅に絞り込みました。たとえば本校で人気No.1の明治大学は、前年比106%の119,785名もの志願者を集めた一方で、合格者は前年比89%の20,253名に絞り込みました。定員を1,030名も増やしたにもかかわらず、合格者は2,467名も減ったのです。また各大学は、入学者が定員の一定数以上を超えないようにするため(超えてしまうと国からの補助金がカットされるため)、補欠候補を大幅に増やしました。たとえば上智大学は、合格者4,425名に対して5,927名もの補欠候補を出しています。

もっとも、このような状況は十分予想されていたことであり、その対策として、受験生の多くは、併願校を増やしました。そしてそれに乗ずるかのようになり、各大学がネット出願・複数学科併願割引制・試験日自由選択制など、出願しやすくなる仕組を用意した結果、首都圏人気私大(早慶上理・GMARCH・日東駒専など)では志願者数が大幅に増加しました。

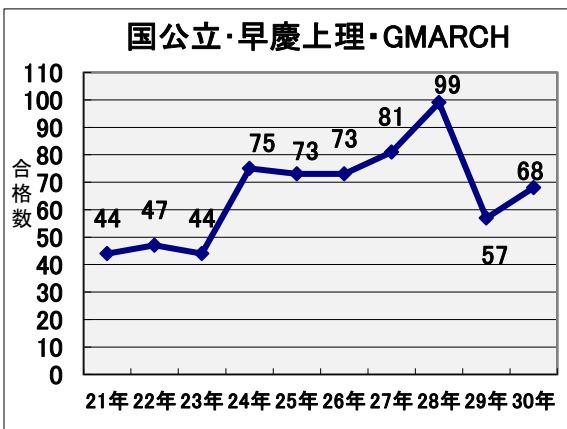
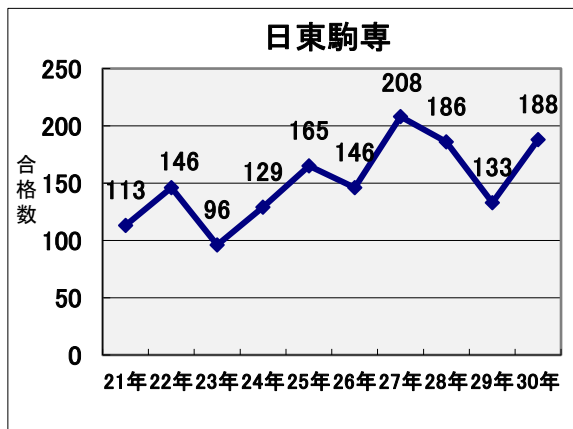
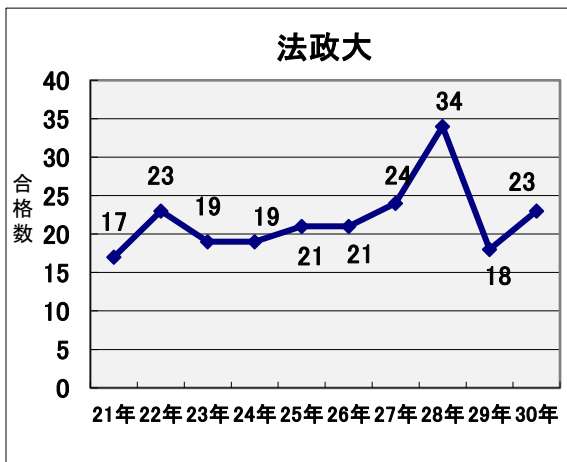
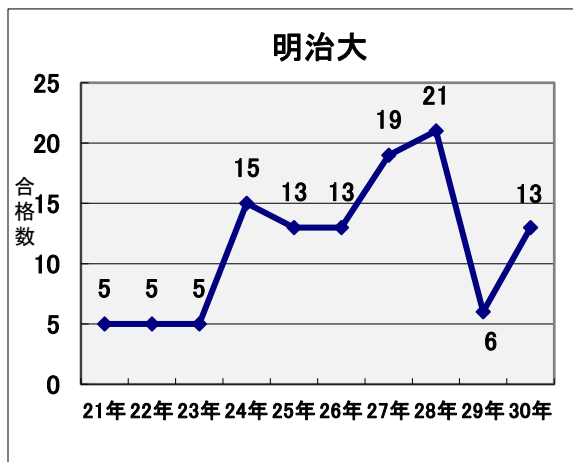
本校ではどうでしょうか。3月に卒業した32期生の出願総数は、2,531校(前年比119%)の過去最高数となり、単純に在籍数で割っても一人あたり7.1校、専門学校進学者や推薦入学者を考慮に入れると、一般入試で大学を受験した3年生は、一人あたり約8.9校出願したことになりました。



このようなきわめて厳しい受験状況の中で、32期生は前年大きく落ち込んだ合格者数を増加に転じさせる健闘を見せました。その要因は様々な考えられますが、『強気な出願の大幅増』、『外部模試の積極的な受験』、『赤本(大学別の入試過去問題集)での過去問研究(179

名が 1,088 冊の赤本を借りていきました)』そして『学年全体で受験に対して互いに刺激し合い、励まし合う雰囲気があった』など、様々な要素がうまく複合した結果であると思われます。

【 主要大学等の、過去 10 年間の合格者数の推移 】



③. 【 現 3 年生の入試状況予測 】

大学定員厳格化は、2018 年入試では定員の 1.1 倍（大規模大学の場合）を超えると補助金を不交付とする、というものでしたが、2019 年入試については「1.0 倍を超える入学者数に応じて学生経費相当額を減額」・「定員超過率を 0.95～1.0 倍にした大学には補助金を上乘せ」という方向性が示されています。また、現 1 年生が大学入試改革の初年度受験者であり、きわめて大きな変化があるため、現 2 年生は超現役指向（浪人すると新しい大学入試制度に対応しなければならないので、絶対に浪人はしたくない）になるだろう、と予想されています。その影響は間違いなく 3 年生にも及ぶことでしょう。ですから、来春（現 3 年生が受験する 2019 年入試）も、首都圏人気私大（特に文系）の難化は続き、好転することはないだろうと考えられます。不安を感じさせる要素ばかりのように感じられます。



では、皆さんはどうするのでしょうか？ 安易な方向（そこそこの進学先に、あまり苦勞せずに入學できればまあ良し）を選択するのでしょうか？ 進路に対する考え方やその選択・決定は人それぞれであり、もちろん国公立大学や難関大学合格がすべてではありません。しかし、先日の進路希望調査の結果が示すように、もしそれを希望しているならば、それに向かって最善を尽くすべきでしょう。そして、その努力の過程こそが皆さんを大きく成長させるのです。